

超音波ハンダ付け装置 TM-010

“TM-010”は、超音波を用いてガラス・セラミクス等にハンダ付けすることが出来る装置です。

接合の原理

- 1: 超音波のキャビテーション効果(*)により、接合対象の汚れ、吸着されている物質、酸化物を取り除き、清浄な表面をつくります。
- 2: 金属、ガラスあるいはセラミクス中の酸素と、ハンダの成分とが、強固に接合します。

* 超音波により液体に生じた真空の気泡が破裂することにより生じる現象。

特長

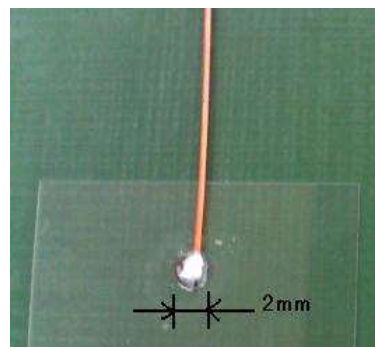
- ガラスにハンダ付けが可能
(窓ガラス、無アルカリガラス・・・ガラス・セラミクス用ハンダを使用)
- セラミクスにハンダ付けが可能
(アルミナ、サファイア・・・ガラス・セラミクス用はんだを使用)
- アルミニウム・ステンレスにはんだ付けが可能
- ハンダ付けの際に、腐食性のフラックスを必要としません。
- 低温のハンダ付けにも使えます。(融点155度より)

用途

- 太陽電池のリード出し
- アルミニウム線のハンダ付け
- 超電導体、熱電素子のリード出し
- ディスプレイの電極付け 等



超音波ハンダ付け装置
TM-010



超音波ハンダ付け装置 “TM-010”

“TM-010”は、超音波を用いてガラス・セラミクス等、多くの材料にハンダ付けすることが出来る装置です。

特長 1

- ガラスにハンダ付けが可能
(窓ガラス、無アルカリガラス・・・ガラス・セラミクス用ハンダを使用)
- セラミクスにハンダ付けが可能
(アルミナ、サファイア・・・ガラス・セラミクス用はんだを使用)
- アルミニウムにはんだ付けが可能
- ハンダ付け可能な材料は・・・
ほとんどの金属材料(アルミニウム、ステンレス、チタン、マグネシウム 他)、金属酸化物、熱電素子、超伝導体 他

特長 2

- ハンダ付けの際に、腐食性のフラックスを必要としません。
- 低温のハンダ付けにも使えます。

以上の特長により、従来のハンダ付けに比べ、工程数を減らし、長期の使用による腐食を防ぐことが出来ます。

特殊ハンダ:

- 接合には、特殊ハンダ(ノンフラックスハンダ)が必要になります。(セラソルザほか)
- ガラス用、アルミ用、セラミック用とアプリケーションに合ったハンダをご提案いたします。
- 低融点(155℃)から対応
- 鉛フリー対応の製品もございます。

用途:

- 太陽電池のリード出し
- アルミニウム線のハンダ付け
- 超電導体、熱電素子のリード出し
- ディスプレイの電極付け 等

仕様:

- ー 超音波発振周波数・・・60±5KHz (PLL 制御回路)
- ー 超音波発振出力・・・15W(Max) 6 段可変
- ー チップ温度調整・・・無段可変 (約 120～480℃)
- ー 電 源 ……AC100V 50/60 Hz
- ー 消費電力 ……最大 180W
- ー チ ッ プ ……特殊ステンレス製
標準先端径: φ1.0～3.5mm(ご要求により形状加工可)
- ー ヒーター ……高性能シーズヒータ(Max. 450℃) 60W
- ー 寸法・重量・・・発信・電源部 220W×245D×98Hmm、約 3.2kg
・・・コテ部 36φ(Max)×250mm、230g(ケーブル込)
- ー 付 属 品・・・取扱説明書、フットスイッチ、はんだクリーナ、チップ交換用スパナ

その他、オプション品をご要望の場合はご相談下さい。

- ◆ 仕様、型番および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- ◆ ご使用の際は、商品に添付されている「取扱説明書」をよく読み、正しくお使い下さい。

製造元:

Eishin

栄信工業株式会社

【本社】

〒178-0065 東京都練馬区西大泉 6-7-3
TEL03-3921-1635 FAX03-3924-9393

【第二工場】

〒178-0065 東京都練馬区二次大泉 4-21-13
TEL03-3921-1635 FAX03-5387-9328
URL: <http://www.eishin-ind.com>
E-mail: eishin@eishin-ind.com

販売元:



穂高電子株式会社
Hodaka Denshi Co., Ltd.

URL: <https://www.hodaka.co.jp/>

本社: 〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-12-12

新横浜IKビル 9F TEL:045-595-9394

拠点: 横浜営業所、厚木営業所、東京営業所

名古屋営業所、三重営業所、浜松営業所

関西営業所、京都営業所、岡山営業所